

佐野 県議

鉄道問題で持論を展開

早急に相互直通運転を!

京葉線とりんかい線



本会議場に登壇した佐野県議

佐野議員 東京駅だけでなく、新宿駅と千葉駅を結ぶ特急の増発について、働きかけを行っていくべきと考えるがどうか。

佐野議員 現在、千葉駅から新宿方面へのアクセスは、総武線、中央線を経由する各駅停車が中心となるおり、この区間を走行する特急は、平日1日2本の運行にとどまっています。新宿駅は、ビジネス拠点であるばかりでなく、多方面への経路が集中するターミナル駅でもあり、県として

千葉駅から新宿方面への利便性の向上を図つていただきたい。

佐野議員 建て替えが進むがわざか43分で、通勤時間の短縮に大きな効果があると思います。都心と千葉間には、夜間に回送列車を活用したホームライナーが運行しています。特急だけにこだわらず、こうした列車の増発なども含め、幅広く便性の向上を図つていただきたい。

佐野議員 建て替えが進めています。現在、新棟の実施設計に取り組んでおり、平成31年度末の完成を目指し、本年秋ごろの着工を予定しています。

その他、仁戸名地区の県有施設は、新棟の建設工事や新病院の開設に向けた準備業務を3ヵ年にわたって行つたための経費を補正予算に計上しましたところです。現在、新棟

有施設の完成もしくは移動

精神科医療センターとともに整備し、精神科医療センターは、

かい線沿いには、東京オリンピック・パラリンピックの競技会場が15カ所以上も集中しており、これら会場間の円滑な移動の確保は、当然、対応すべき問題です。現在、相互直通運転は、JRや私鉄間でも当たり前のように実施されています。

JR京葉線とりんかい線の相互直通運転の実現に向け、今後どのように取り組んでいくのか。

総合企画部長 京葉線とりんかい線の相互直通運転は、所要時間の短縮や混雑緩和、乗り換え利便性の向上など、便益効果が非常に高く、首都圏全体の国際競争力の強化にも寄与するも

かい線沿いには、東京オリンピック・パラリンピックの競技会場が15カ所以上も集中しており、これら会場間の円滑な移動の確保は、当然、対応すべき問題です。現在、相互直通運転は、JRや私鉄間でも当たり前のように実施されています。

JR京葉線とりんかい線の相互直通運転の実現に向け、今後どのように取り組んでいくのか。

佐野議員 京葉線とりん

のと認識しています。

実現に向けては、運賃の適正な収受など課題もありますが、オリンピック・パラリンピックの競技会場間の円滑な移動の確保という観点からも相互直通運転は実施すべきと考えています。

JR京葉線とりんかい線の相互直通運転は、こうした問題の

佐野議員 京葉道路は、幹線道路ですが、東関東自動車道など主要な道路と接続し、激しい渋滞が発生しています。現在のネクスコ東

クスプレスの千葉駅停車本数の増加について、JRに対し強く働きかけるべきと考えるがどうか。

JR東日本によると、速

いに要望しているところです。

JR東日本によると、速

いに要望しているところです。